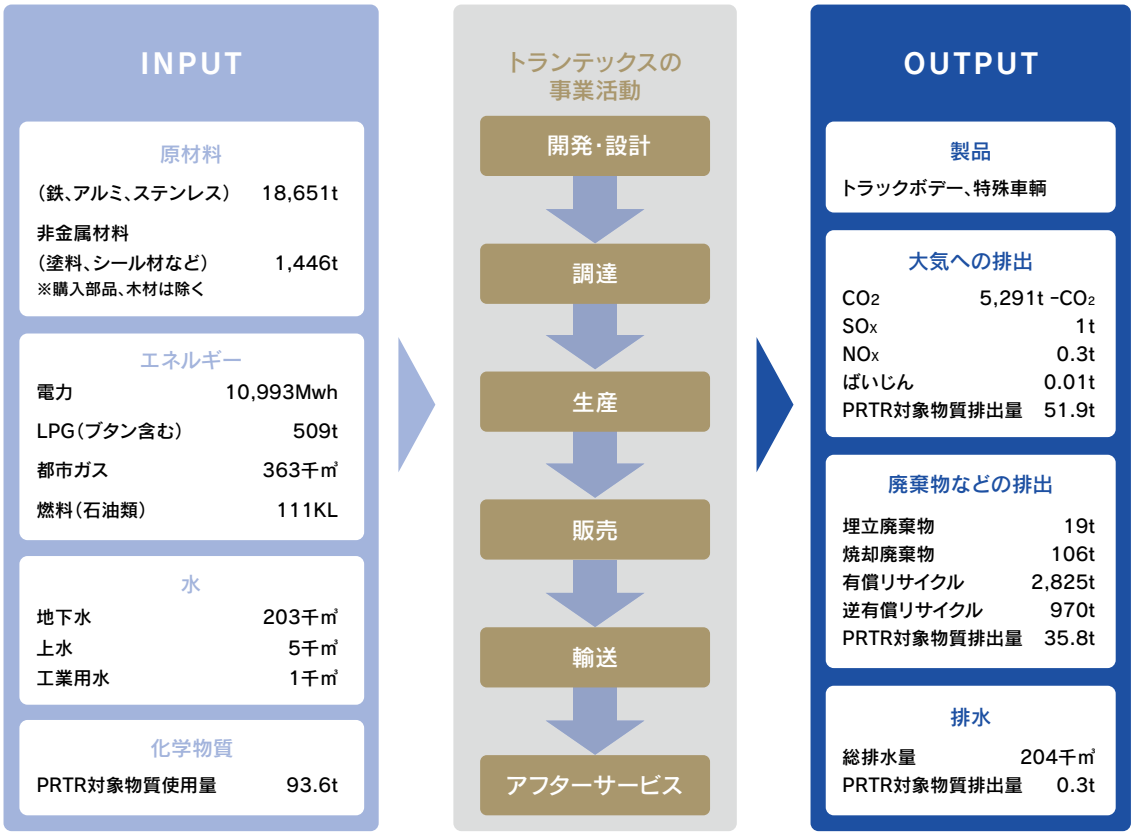
事業活動と環境影響

事業活動と環境影響

事業活動における投入資源（インプット）と排出による環境負荷（アウトプット）を定量化し、環境への影響を把握して、環境負荷低減活動に活用しています。

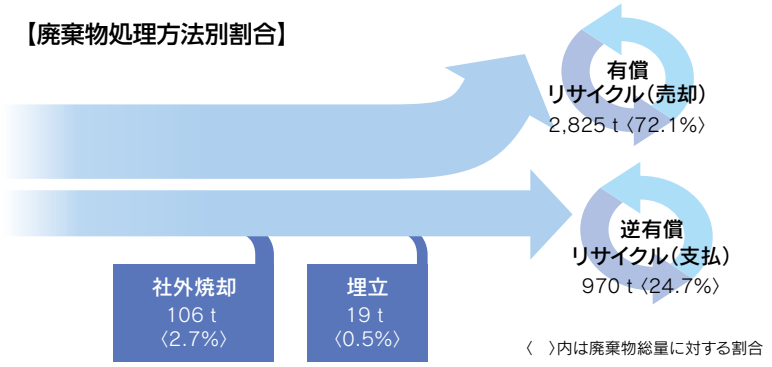
【事業活動における2023年度の投入資源と環境への排出】



PRTR（Pollutant Release and Transfer Register）：有害化学物質排出・移動登録制度
SOx：硫黄酸化物　　NOx：窒素酸化物

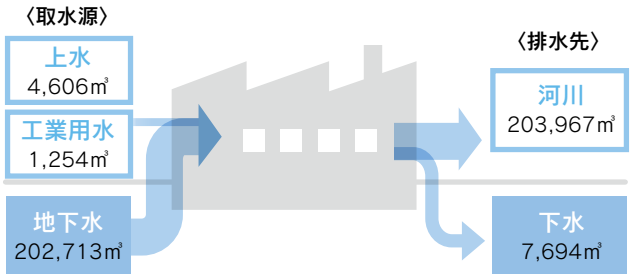
廃棄物の処理方法種類と重量

工場内で発生する廃棄物については限りある資源を有効活用していく観点から地道な活動を通して焼却処理や埋立処理からリサイクル処理へのシフトを進めています。



水源別取水量と排水先

工場内で使用される水は主に塗装工程や検査工程で使用されており、地下水や工業用水でまかなっています。使用後は廃水処理設備で適正な水質に戻してから河川放流しており、定期的に外部の専門業者に依頼して水質検査を行い異常がないことを確認しています。

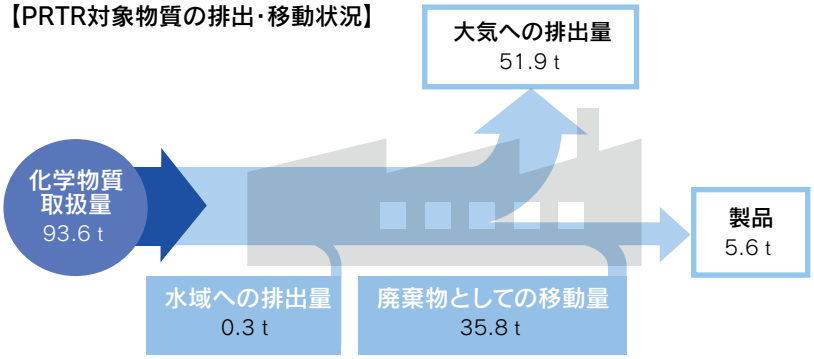


項　目	法基準値	2023年度測定値（年間最高値）
PH	5.8以上8.6以下	6.5-6.9
BOD	30mg/L以下	17mg/L
COD	–	24mg/L
SS	110mg/L以下	3mg/L未満
n-ヘキサン動植物油	30mg/L以下	1mg/L未満
n-ヘキサン鉱油類	5mg/L以下	1mg/L未満
亜鉛	2mg/L以下	1.4mg/L
溶解性マンガン	10mg/L以下	2.3mg/L
鉛	0.1mg/L以下	0.01mg/L未満
六価クロム	0.2mg/L以下	0.05mg/L未満
フッ素	8mg/L以下	0.5mg/L
アンモニア・アンモニウム化合物亜硝酸化合物および硝酸	100mg/L以下	9.5mg/L

大気・水質への化学物質の影響

当社では生産工程での塗料や接着等の使用により大気・水質に影響を与える化学物質を取り扱っています。自主的な活動はもちろん、各サプライヤー様と協力しながら、取扱量を減らす努力を続けていきます。

【PRTR対象物質の排出･移動状況】



温室効果ガス使用量（kg）	
HFC125	465.6
HFC134a	124
HFC143a	8
HFC32	70.4
HFC1234yf	192

（＊）４重金属を含む11禁止物質
鉛（Pb）
水銀（Hg）
カドミウム（Cd）
六価クロム（Cr+6）
アスベスト
ＰＢＢ（ポリ臭素化ビフェニル）
ＰＢＤＥ（ポリ臭素化ジフェニルエーテル）
デカＢＤＥ（デカ臭素化ジフェニルエーテル）
ＨＢＣＤ（ヘキサブロモシクロドデカン）
ＰＦＯＳ（パーフルオロオクタンスルホン酸）
ＤＭＦ（フマル酸ジメチル）

環境負荷物質（SOC）（＊）使用禁止の取組み

当社は2008年生産分から商品に含まれる環境負荷物質全廃（＊）を行い、現在は購入する材料・部品の環境負荷物質の有無を事前に確認する体制をとっています。（お客様指定品や一部機器は除きます。）

エコ電力導入

本社工場は2021年度から再生可能エネルギー 100%由来の電力を一部導入しています。また、古河工場も2022年度からグリーン電力証書を利用した電力を導入しました（＊）。限りある資源・エネルギーの使用を少しでも減らすため、これからも使用電力量の削減を続けていきます。

＊古河工場は日野自動車古河工場の電力を利用しており、日野自動車古河工場が2022年4月よりグリーン電力証書の購入を開始